

科目名	保育実習Ⅱ		担当教員	石井 章仁・小久保 圭一郎		
			担当形態	複数		
テキスト	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領	単位数 授業形態	2単位	実習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <p><子どもの理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の体験を通して、保育所において、子どもがどのような生活をし、どのように人と関わり、どう成長を遂げるのかなどを背景や援助と共に具体的に考察する。 <p><職務の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の体験を通して、保育者の援助と、その基となる保育観や意図を理解し、子ども理解と共に考察する。 <p><施設の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の体験を通して、保護者とのかかわりや地域における保育所の使命を理解する。 <p><自己課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の体験を通して、実習を通して自己の良さや課題、価値観などに気づく。 <p>■授業の概要</p> <p>おおむね11日間以上、90時間以上の実習を行います。実習においては、意欲を持って参加するとともに、出勤時間を守り、日々記録の作成と提出等を行うことが必要です。1年次からの全ての実習の経験や学びから、実習での目標を立て、それに向けた実習準備を行い達成できるよう実践します。</p> <p>子どもの理解、保育士の職務理解、園の理解等、実習での学びを深めるとともに、保育の過程を理解するための実践（部分実習や責任実習）などにも取り組む場合があります。</p> <p>実習を通して、保育士としてふさわしい心構えや態度、知識や技術の習得はもちろんのこと、保育や子育て支援の理解、専門職として自律する自己の理解も狙います。さらに、将来どのような職業に就くのかなど、具体的に就業を考える機会にもなるような学びの獲得を期待します。また、2年間のまとめの実習であるため、自身が設定したテーマやこれまでの実習の中で見えてきた良さや課題について、考察したり、さらに深く掘り下げていくことが求められます。</p> <p>■準備学習</p> <p>保育実習指導Ⅱの受講および実習園からの課題</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導で立てた目標の達成状況 — 10% ・実習の取組み状況 — 40% ・実習記録 — 20% ・実習園からの評価表 — 30% <p>※前提として、実習事前事後指導を学修している事が条件となります。</p>						
参考文献	「保育所保育指針」厚生労働省 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を規定時間行うことが必要となりますが、規定時間を満たしたとしても、実習の状況等により、単位の修得ができない場合があります。 ・保育実習Ⅰの単位を修得していない場合、履修出来ません。 <p>【課題等のフィードバック方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの添削・指導を行う。 ・実習記録に対して添削・指導する。 ・実習評価を基に指導する。 			
			卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択必修	幼保	保育実習